

*前期比：D I・季節調整済

景況

業況は、食料品製造業が前期に続き改善をみせ、出版・印刷・同関連産業、窯業・土石製品製造業、その他製造業でも改善となりました。木材・木製品製造業は横ばいで推移し、他の製造業は悪化傾向を大きく強めました。全体的には-47と16ポイント悪化傾向を弱める結果となりました。売上額は-18と6ポイント、収益は-20と9ポイント上昇し、減少傾向を弱め改善が続いています。価格面では、販売価格が-17と10ポイント上昇し、下降傾向を弱め改善が続いています。原材料価格は22と16ポイント上昇傾向を強めました。原材料在庫は2と1ポイントの上昇にとどまりました。資金繰りは-39と2ポイント下降し、依然窮屈感は続いています。残業時間は-15と3ポイント上昇し、減少傾向を弱め、人手は5と1ポイント上昇し、過剰感は続いています。設備の状況は-9と7ポイント不足感を弱めました。設備投資については、機械設備の新・増設を中心に17%の先が実施し、前期より1ポイント減少しました。

来期の見通し

業況は、建設用・金属製品製造業、その他製造業で改善するとみえており、木材・木製品製造業では横ばいで推移するとみえています。一方、他の製造業では悪化傾向が強まるとみえておりますが、全体的には、来期は、-45と2ポイント上昇し、引き続き改善するとみえています。売上額は-23と5ポイント、収益は-26と6ポイント下降し、減少傾向を強めるとみえています。価格面は、販売価格が-12と5ポイント上昇し、下降傾向を弱め、原材料価格は14と8ポイント下降し、上昇傾向を弱めそうです。原材料在庫は-3と5ポイント下降し、不足に転じるとみえています。資金繰りは-36と3ポイント上昇するとみえています。依然窮屈感は続くともみえています。残業時間は-17と2ポイント下降し、減少傾向が強まりそうです。人手は3と2ポイント下降し、過剰感が弱まるとみえています。設備の状況は-14と5ポイント下降し、不足感を強めそうです。設備投資については、車両を中心に11%の先が実施予定とし、今期より6ポイント減少するとみえています。

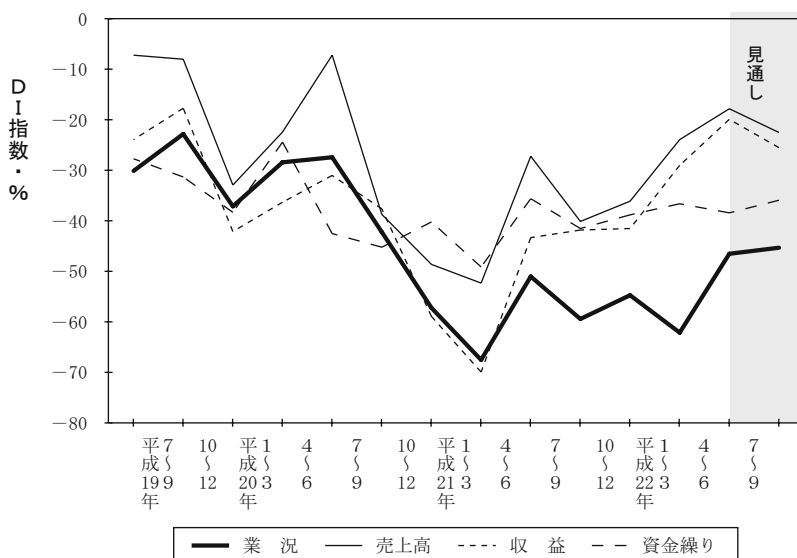
調査員のコメント

■ 当社の日本酒が、海外のすし店から高く評価され、オリジナル商品を作ることとなった。近年の日本酒ブームを背景に日本酒の海外市場は拡大しており、今後も成長が期待される。

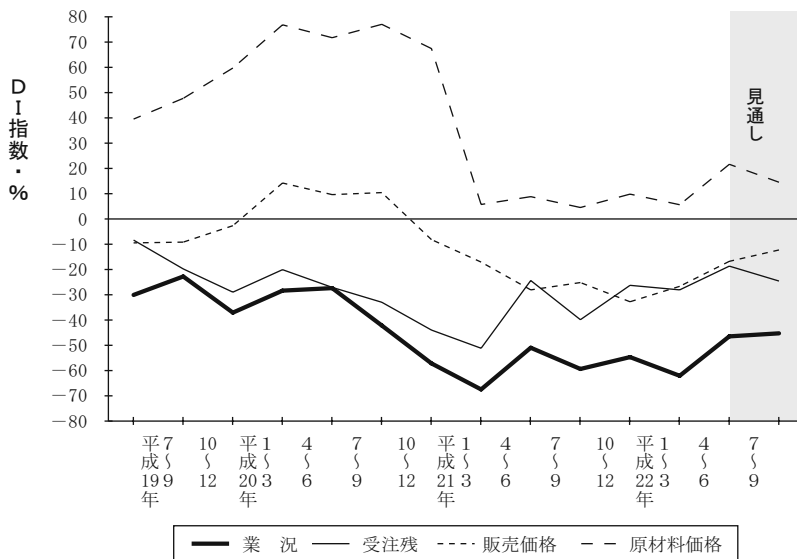
(清酒製造業)

■ 業況厳しい中、いろいろな企業努力を行っているが、特に若い職人の育成に力をいれている。(製菓製造業)

景況の推移

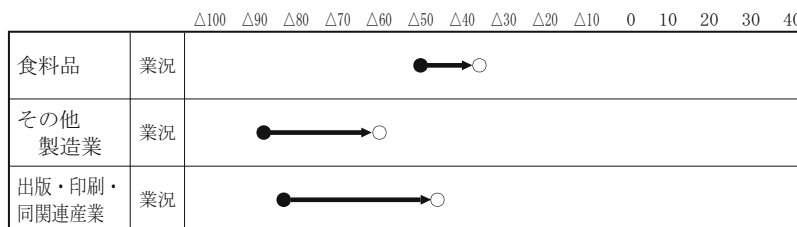


主な指標の動き



業種別業況判断DIの推移

今期(22年4月~6月) / 前期(22年1月~3月)



経営上の課題点	1位	66%
	2位	36%
	3位	29%

当面の重点経営施策	1位	61%
	2位	59%
	3位	30%

*()は前回順位